

施策コード	6-5
-------	-----

中心所管課	公共施設マネジメント課
関連所管課	

第6章	市民とともに歩むまちづくり -地域・行財政-							
基本施策名	5 公共施設の適正な管理							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
公共施設の延べ利用者数	千人	1,854	1,049	1,367	1,900	2,000		
建物床面積1㎡あたりの施設維持管理費用(市負担額)	円	26,320	32,886	32,238	26,000	25,000		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 まちづくりにつながる公共施設の配置	新たなニーズを取り込み、便利で魅力的な公共施設を整備するため、市民の意見を伺いながら検討を行っている。 地区利用型施設では、1地区でワークショップを開催、4地区で地区個別計画の策定を行った。 全市利用型施設では、リーディングプロジェクトに関して市民フォーラム・ワークショップを行い、基本構想等の検討を行っている。	地区利用型施設では、形原地区の地区個別計画を策定する。(全地区で策定を完了) 全市利用型施設では、市民の意見も伺いながらリーディングプロジェクト基本構想等を策定し、施設整備につなげていく。
2 公共施設を安全に利用するための適正な管理、計画的な修繕	施設の安全性を確保するため、公共施設の実態調査を実施し、施設所管課における建物の劣化状況の把握を促した。 予防保全の考えに基づく計画的な修繕や更新を行うため、施設の維持管理計画である個別施設計画の総合的な調整を実施した。	引き続き、施設実態調査や個別施設計画の調整を行い、適正な施設管理を促していく。
3 施設量の適正化と効率的な運営による将来負担の抑制	施設量の適正化のため、廃止した市営住宅など、不要となった施設の除却を進めた。 施設更新等の時期の調整により将来負担を平準化するため、個別施設計画の総合的な調整を行った。	機能の融合や配置の適正化を通じて施設量の適正化を図るとともに、引き続き、個別施設計画の調整を実施していく。 施設の魅力向上や効率的な運営のため、民間活力の導入の検討を進める。
4 公共施設マネジメントの推進体制の整備	全庁横断的な体制で取組を進めていくため、必要に応じて公共施設見直し検討委員会等を開催し、検討や情報共有を行った。 公共施設の実態調査により、利用状況、コスト状況、建物劣化情報など一元管理を進めた。	今後も公共施設マネジメントを推進していくため、引き続き、全庁的な検討、情報共有を行うとともに、情報の一元管理を行っていく。

個別計画の目標指標								
計画名	蒲郡市公共施設マネジメント実施計画				計画期間	平成29年度～令和28年度		
指標名	単位	策定時	実績値				目標値	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12
全市利用型施設における取組完了施設の割合	%	—	0.0%	10.3%			35.0%	80.0%
地区個別計画の策定地区の割合	%	28.6%	28.6%	85.7%			100.0%	100.0%

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4(決算額)	R5(予算額)		
		人工			
1	地区個別計画の策定	4,026	0	形原地区で地区住民の意見を伺うワークショップを開催。過去開催したワークショップの内容も参考に4地区の地区個別計画を策定。	形原地区の地区個別計画を策定するとともに、学校等の施設整備スケジュールを策定する。
		1.8人工			
1	全市利用型施設におけるリーディングプロジェクト基本構想等の策定	441	39,505	基本構想のコンセプト等の検討を行うため、外部有識者による検討や市民向けフォーラム・ワークショップを開催。	市民や愛撫有識者の意見を伺いながら、庁内での検討を進め、基本構想等を策定する。
		0.8人工			
2 3 4	施設情報の一元管理及び個別施設計画の総合的な調整	660	3,201	実態調査等で収集した情報を一元管理し、各施設の個別施設計画を調整。	引き続き情報を蓄積し、施設の適正管理や将来負担抑制、平準化につなげる。
		0.4人工			

総括評価	成果	地区利用型施設については、地区個別計画の策定が進んでいる。最も事業が先行している地区では施設所管課において施設整備に向けた設計業務に着手した。全市利用型施設については、不要となった施設の除却を進めるとともに、リーディングプロジェクトの検討を開始した。
	課題	地区利用型施設については、計画は完成したが、具体的な施設再編に向け、地元の理解を深めていく必要がある。全市利用型施設については、リーディングプロジェクトは市民の関心も高いため、事業を着実に進めていく必要があるが、事業用地の確保時期が不透明となっている。
	今後の方向	魅力的な施設を効率的・持続的に運営していくため、民間が事業に参入しやすくなる仕組みの整備を行うとともに、ワークショップの開催等を通じて市民・行政双方の意識改革、担い手を育成していく。